

令和5年度 リニア駅前広場整備における3つのプロジェクトの報告について

リニア推進部リニア整備課

1 次世代インフラプロジェクト

リニア駅前広場整備を進めていく上で、高架下空間を含めたリニア駅前広場に求められる機能やレンタカー・カーシェアリング、駐車場等のあり方についてコロナ禍や社会情勢等の変化を踏まえた検討を進めていくため調査を実施した。

(1) リニア駅前広場に求められる機能について

ア 調査対象及び質問内容

調査対象		飯田市周辺地域	県外居住者	長野県内居住者
		飯田市、伊那市、駒ヶ根市、上伊那郡、下伊那郡	東京圏、中京圏、関西圏、長野県・新潟県・富山県内の北陸新幹線駅（ターミナル駅除く）の利用経験者	軽井沢駅、佐久平駅、上田駅、飯山駅のP&R・送迎経験
来訪動機 来訪時の過ごし方	・リニア利用の時 ・リニア利用しない時 ・利用シーン等	○		
乗り換え (新幹線→公共交通)	・乗換え時の困りごと ・待ち時間の過ごし方の困りごと		○	○
乗り換え (自動車→新幹線)	・パーク&ライドの実態困りごと ・送迎の実態			○

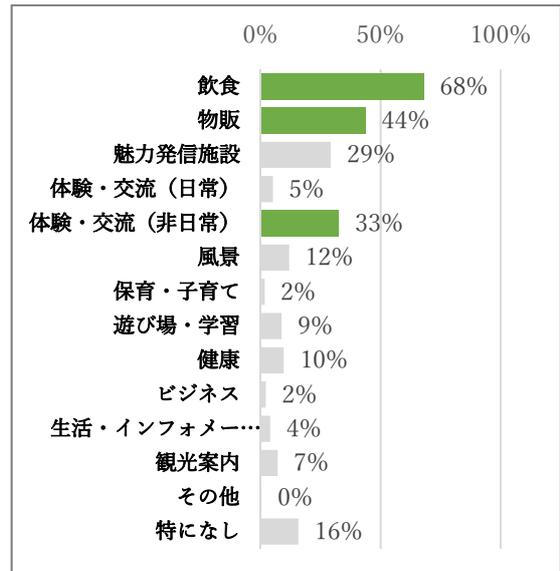
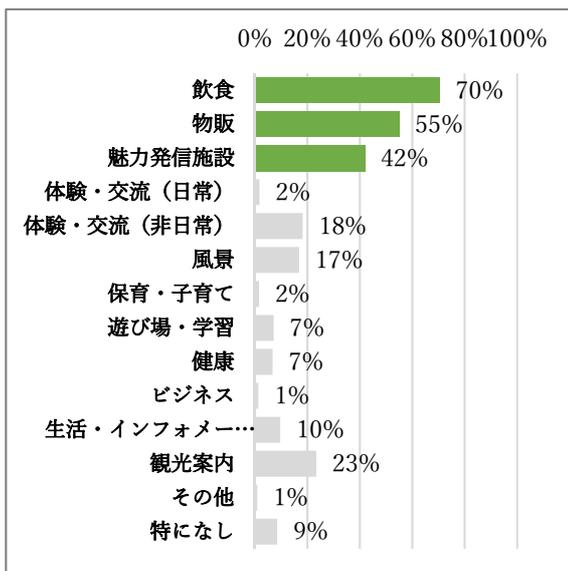
イ 調査結果

(飯田市周辺地域居住者)

①リニア駅への来訪動機及び来訪時の過ごし方について

(リニア利用の時)

(リニア利用しない時)

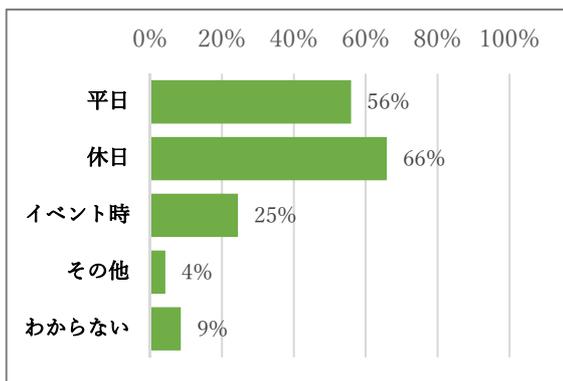


※ 飲食：レストラン、食事処、カフェ、パン、居酒屋
 物販：コンビニ、雑貨、ドラッグストアなど
 魅力発信施設：地元特産品の販売、文化芸術等の発信、展示スペース

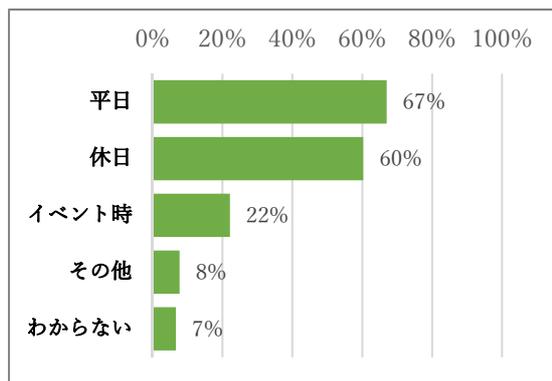
- ・リニアを利用する際には飲食、物販、魅力発信施設のニーズが高い。
- ・リニアを利用しない場合でも、駅前広場へ来訪したくなる施設・機能等のニーズとして、リニア利用時と同じく「飲食」が多いほか、「非日常の体験・交流」などの機能を望む回答がある。
- ・飲食はリニア利用の有無にかかわらず利用者のニーズが高いと想定され、広場の魅力を高める効果があると考えられる。

②リニア利用しない時の来訪シーン（いつ、誰と、どれくらいの頻度で）

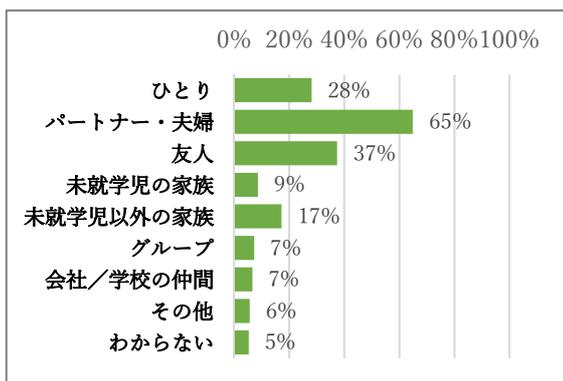
いつ（飲食）



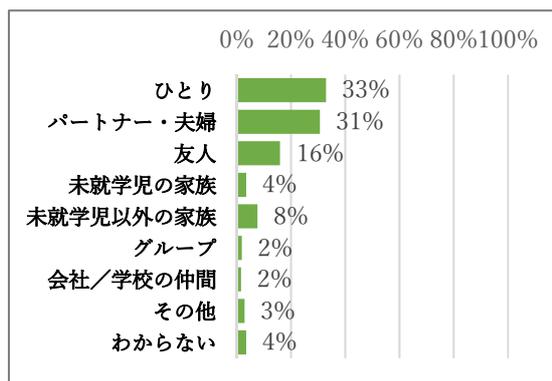
いつ（物販）



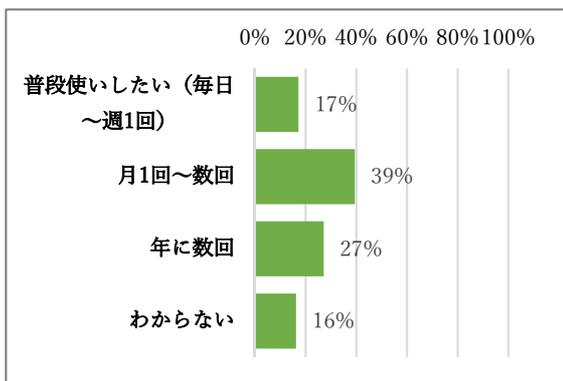
誰と（飲食）



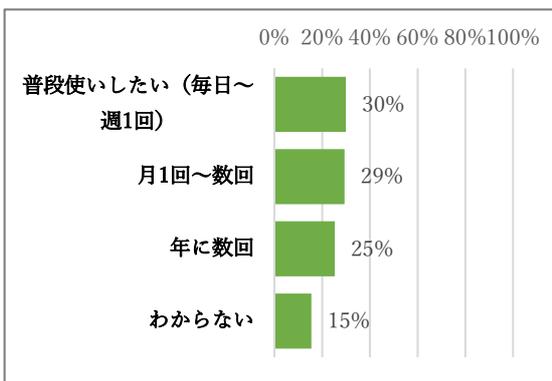
誰と（物販）



どれくらい（飲食）



どれくらい（物販）

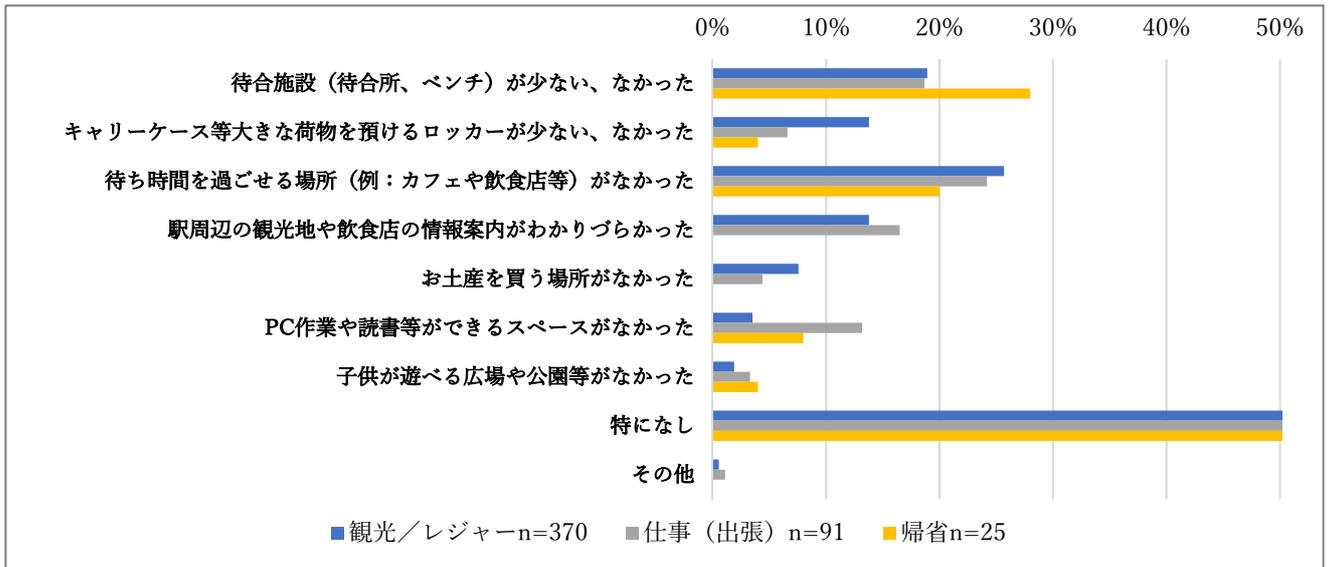


- ・リニア駅の利用シーンでは、「飲食」は主に休日に、家族や友人で月に数回程度訪れたいとの傾向が見られた。
- ・「物販」は平日に少人数で普段使いの来訪動機となる傾向がみられる。

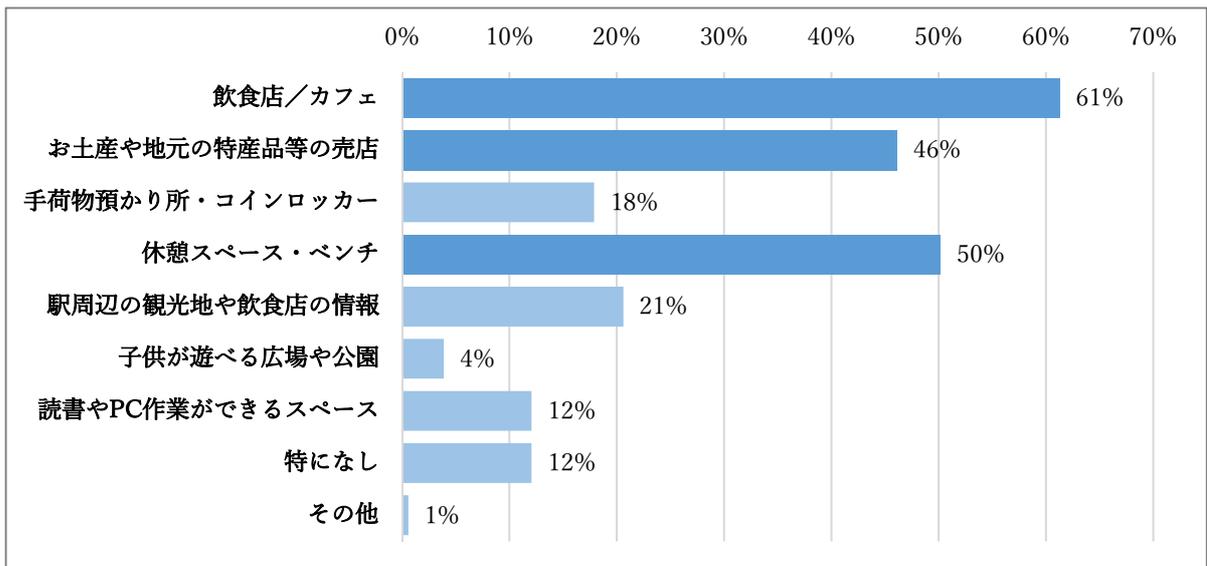
(長野県外居住者)

③乗り換え（新幹線→公共交通）

(新幹線駅での乗り換への困りごと)



(待ち時間を過ごす上でほしい施設や設備)



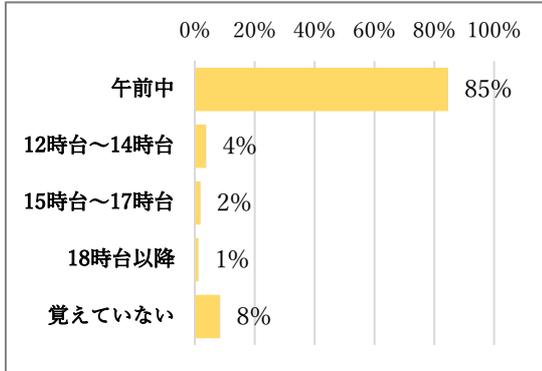
- ・「特に困りごとはない」という回答を除くと「待ち時間を過ごせる場所(カフェ、飲食店)がなかった」、「待合施設(待合所、ベンチ)が少ない」、「駅周辺の観光地・飲食店の情報案内がわかりづらい」との意見がある。
- ・待ち時間を快適に過ごす上でほしい施設や設備として、「飲食店やカフェ」、「休憩スペース・ベンチ」、「お土産や地元の特産品等の売店」を望む意見が多い。
- ・駅周辺の観光情報や飲食店情報、コインロッカー、ビジネスでの来訪者向けのPC作業や読書スペースを望む意見もある。

(長野県内居住者)

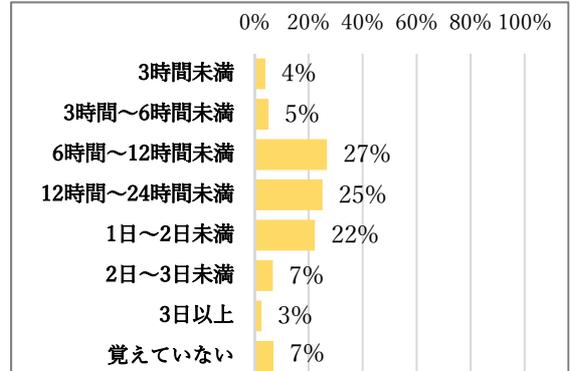
④乗り換え（自動車→新幹線）

（パーク＆ライド（P&R）の利用実態について）

（入庫時間）

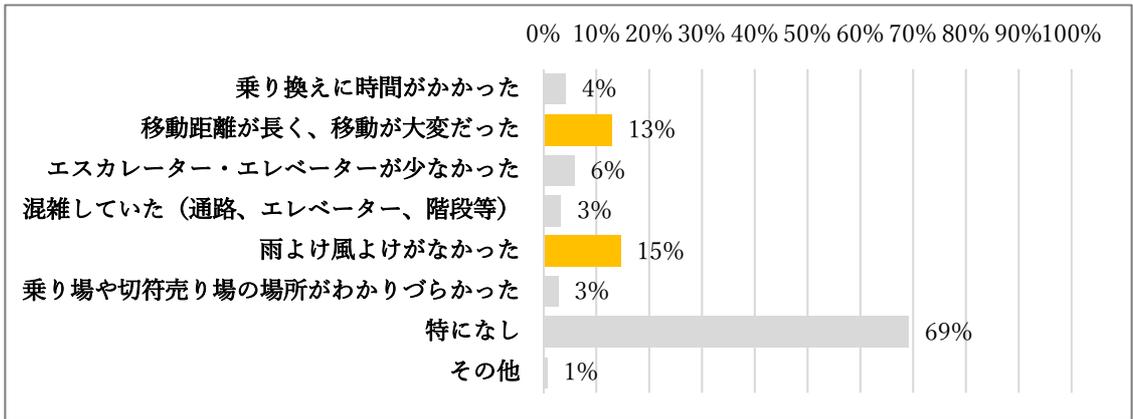


（駐車時間）



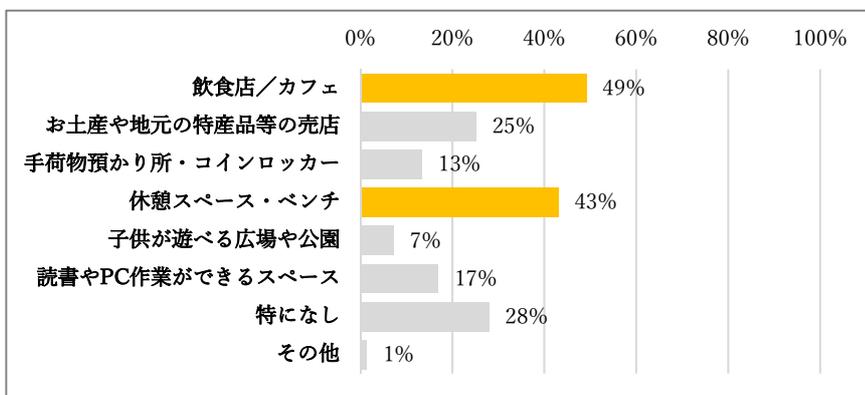
・P&R 駐車場の入庫は午前中に集中し、駐車時間は半日が 27%、半日から 1 日が 25%、1 日以上は 32%となっており、全体の 3 割は 1 日以上駐車している実態がある。

（乗り換えの困りごと）



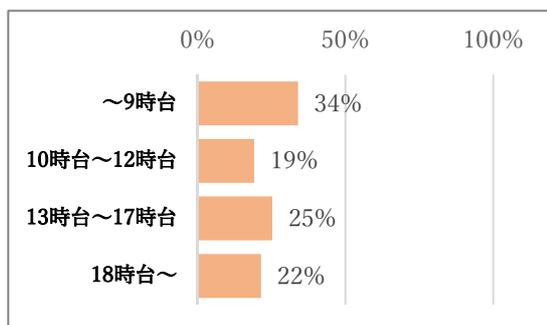
・自動車から新幹線への乗り換え時の困りごととしては、「特になし」が 7 割を占める。
 ・駐車場から駅までの移動距離や雨除け設備がないことによる不便さを指摘する回答がある。

（乗り換えの待ち時間にほしい施設）

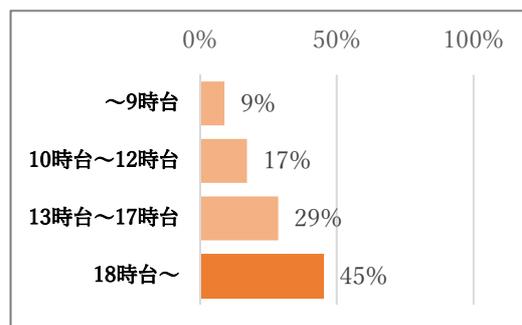


・待ち時間を快適に過ごすための施設等としては、県外居住者と同様に「飲食店やカフェ」、「休憩スペース・ベンチ」の設置を望む比率が高い。

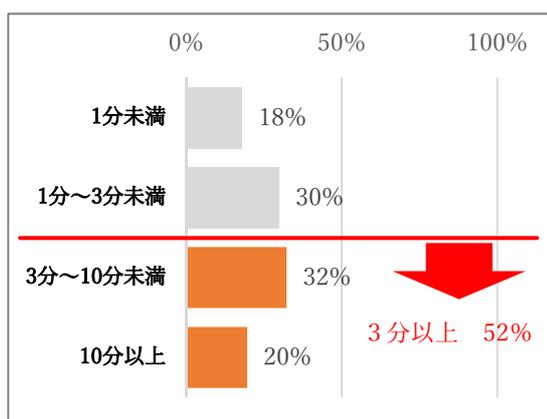
(送りの時間帯)



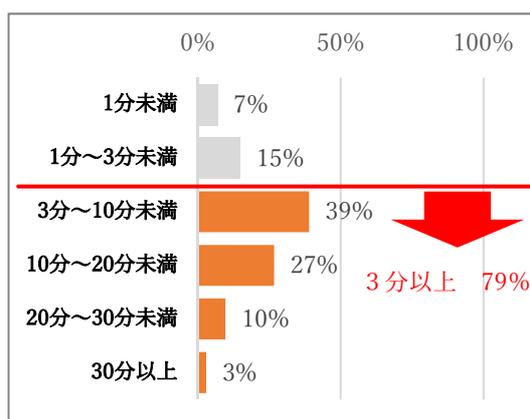
(迎えの時間帯)



(送りの駐停車時間)



(迎えの駐停車時間)



- ・送迎の時間帯は、送り側は朝から夕方まで分散しているが、迎え側は 18 時台以降に集中する傾向がある。
- ・送迎者の駐停車の時間は、送り側は3分以上が 52%に対し、迎え側は3分以上が 79%であり、迎え側の駐停車時間が送り側より長い傾向にある。
- ・送迎時の平均駐停車時間は、送り側が約 5 分、迎え側が約 10 分と、迎え側が送り側より 2 倍程度長いという実態がある。

ウ 今後の進め方

- ・リニア利用の有無にかかわらず、「飲食」や「物販」のニーズが高いことから、民間事業者との意見交換を通じて、高架下空間や広場内に整備すべき内容の具体化を進める。
- ・「体験・交流」などのイベントは子ども連れ家族や友人等との来訪動機となり、駅への来訪頻度を高めることが期待されることから、イベントやワークショップなど駅前広場の活用方法の検討を進める。
- ・リニア駅前広場の活用については、今回の調査結果を踏まえ、公民協働ブランドクリエイトプロジェクトの活用方法の検討と連携しながら、整備に反映していく。